

2014年12月17日

住友生命保険相互会社

＜第25回＞ ～おかげさまで四半世紀～

2014年の世相を反映した

『創作四字熟語』50編

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、2014年の世相を的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から24年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

25回目を迎える今回は、全国から9,677作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

〔募集概要〕

- 募集期間 2014年9月25日～11月6日
- 有効作品数 9,677作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネットによる応募。
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智 氏（歌人）

- 作品応募者の内訳（複数回答）

全 体	男性	女性	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
9,677	7,371	2,306	192	752	1,564	2,050	2,509	2,003	494	61	52
100.0	76.2	23.8	2.0	7.8	16.2	21.2	25.9	20.7	5.1	0.6	0.5

上段＝作品数、下段＝構成比（％）

〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
 - 1) 政 治 (第二次安倍改造内閣発足、日米首脳会談、女性の活躍推進など) 2,230作品(23.0%)
 - 2) 経 済 (消費税増税、NISA、追加金融緩和など) 1,048作品(10.8%)
 - 3) 社 会 (デング熱、危険ドラッグ、自然災害、再生医療など) 2,778作品(28.7%)
 - 4) 国際情勢 (中東情勢、スコットランド国民投票、アイスバケツチャレンジなど) 691作品(7.1%)
 - 5) 文化・スポーツ (ノーベル物理学賞、富岡製糸場世界遺産登録、ソチ五輪など) 1,737作品(17.9%)
 - 6) 流行・芸能 (人気映画、アニメ、テーマパーク、流行語など) 1,193作品(12.3%)

〔今年の傾向〕

消費税増税、アベノミクスの真価、“女性活躍推進”の行方は？

昨年からの景気回復ムードに加え、年明けの「投資新振」開始で好スタートを切った2014年。消費税「五八至十」前の駆け込み需要で市場は活気づくものの、その後の消費マインドは冷え込みました。デフレ脱却の遅れを防ごうと、日銀は追加金融緩和を決定し「日本低円」が加速、消費増税も延期となり、衆議院解散・総選挙に突入しました。

選挙の争点となった“アベノミクス”。成長戦略は“女性の活躍推進”を柱の一つとし、2020年までの目標「三割管女」を表明、第二次「紅増改閣」では歴代内閣最多タイの女性大臣を起用するなど、政策を進めていきました。しかし、突然の衆議院解散で女性活躍推進法案は廃案に。女性がいきいきと輝く社会を目指し、さらなる議論が求められています。

外交では、安倍首相がオバマ米大統領と「館屋会談」。中国が領有権を主張する、尖閣諸島の日米安保適用を明確にしました。しかし、一難去ってまた一難。今度は小笠原諸島で中国漁船団の姿が…。美しいサンゴの海を破壊する「海宝密漁」には、断固たる対応が必要です。

世界的な感染症の脅威、自然現象に一喜一憂

今年は、エボラ出血熱等の感染症が世界規模で猛威をふるい、日本でも70年ぶりにデング熱の国内感染が。「蚊園閉鎖」の公園では「蚊無安全」と駆除作業が行われました。拡大要因の一つとして挙げられる地球温暖化ですが、異常気象との関係も気になります。2月は関東甲信に記録的大雪、6月は都内一部で「雹理一体」、台風や集中豪雨も多発し、甚大な被害をもたらしています。また、自然災害は気象だけではありません。9月の御嶽山噴火には多くの人が心を痛め、「安山祈願」しました。そんな中、10月には楽しい天文現象が。神秘的な「皆喜月食」に、各地で歓声が上がりました。なぜ黄色い月が赤くなるのか？まさにミラクルです。

人間社会でも不思議なことが起こっています。インターネット上の仮想通貨、“ビットコイン”が取引所から消失し、「電貨滞閉」の大混乱に。カタチのないお金は、一体どこを探せばよいのでしょうか？「危草千害」の事件・事故は、深刻な社会問題になりました。自分を、そして他人をも傷つけてしまう危険ドラッグの根絶が急務です。

食に関するニュースも多くありました。日照不足による野菜の「菜高価格」、中国の食品加工会社による「怪鶏処理」、ニホンウナギの絶滅危惧種指定…。近い将来、土用の丑の日の食卓は「野生枯鰻」になってしまうのかもしれません。

光り輝くLED、再生医療の大きな一歩、氷水で難病支援

私たちの生活を劇的に変えてくれた、青色発光ダイオード（LED）。その開発・普及に携わった日本人3名が、ノーベル物理学賞を受賞し、「**青光褒祝**」となりました。

一方、2年前にノーベル生理学・医学賞を受賞した山中伸弥教授のiPS細胞は、世界初の移植手術が「**待眼成就**」。実用化への、大きな一歩です！

医療では貢献できなくても、氷水をかぶることはできるかも？難病のALS患者を支援する「**指名頭氷**」で、世界中から多額の寄付が集まっています。

長引く紛争、国民投票による平和的解決、「ペンは剣よりも強し」

世界では、争いが絶えない地域もありました。戦闘が激化する「**瞬火中東**」では多数の一般市民が犠牲となり、「**デモ泰国**」で軍事政権が発足するなど、不安定な情勢が続いています。そんな中、スコットランドは住民投票で「**英否分離**」を決断。また、「**剣嫌学学**」のマララ・ユスフザイさんは、女子教育の権利を訴え、史上最年少の17歳でノーベル平和賞を受賞しました。

冬季五輪・野球・テニス…トップアスリートの世界への挑戦

今年も、多くのスポーツ選手が世界を舞台に活躍しています。ソチ冬季五輪では、フィギュアスケートの羽生結弦選手が「**金霸銀盤**」し、「**金輝羽生**」の笑顔でファンを魅了しました。浅田真央選手は、全世界が感動した会心のフリーで自己ベストを更新。今後の進退は「**五舞五無**」ですが、あの美しい演技をもっと見たいと願わずにはいられません。スキージャンプの「**紀翔伝説**」こと葛西紀明選手は銀メダルを獲得。41歳で冬季五輪最年長のメダリストに輝きました。

米大リーグでは、田中将大投手が日本人選手史上最高額でヤンキースと契約。「**将大繁盛**」にふさわしい、13勝を達成しています。

待ちに待ったサッカーW杯ブラジル大会は、日本代表がまさかの「**蹴球不勝**」。4年後の飛躍を期待しましょう！

今年一番の活躍は、世界ランキング5位まで登りつめた、テニスの錦織圭選手でしょう。全米オープン準優勝、ツアー・ファイナル4強入りと、まさに「**勢錦之栄**」でした。

大相撲に新星誕生、明暗を分けた日本シリーズ

国内スポーツも負けてはいません！角界では、モンゴル出身の逸ノ城関が新入幕最多タイの13勝を達成。「**逸城揚々**」と新関脇に昇進し、昭和以降最速の出世を果たしました。

プロ野球では、ソフトバンクが3年ぶり日本一となり、秋山幸二監督の「**優秋之美**」を飾りました。惜しくも敗れてしまった阪神は、29年ぶりの日本一が「**虎逃之夢**」に。来季こそはと

再起を誓います。一方、球場ではある変化が。女性ファンが急増し、広島スタジアムは「**鯉女赤染**」、その勢いは首都圏にも及びました。

全国高校軟式野球選手権大会の準決勝では、延長「**五十の闘**」という、まさに世紀の対決に。闘い抜いたすべての選手に、心からの拍手を送ります。

大流行のアニメ、流行語、千客万来の新スポット

今年も数々のヒット商品・流行語が誕生しました。映画『アナと雪の女王』は歴代国内興行収入3位の大ヒットで、主題歌は「**雪歌繚乱**」状態に。「ありのままで～」と歌いつつ、子どもたちはアニメ『妖怪ウォッチ』からも目が離せません。関連グッズは品切れ続出で、クリスマス前のサンタさんは「**難買妖怪**」と大騒ぎです。また、「**白顔一笑**」の「ダメよ～ダメダメ」も大ブレイク。指導に支障が出たのか、一部の小学校では使用禁止になっているとか…。良い子の皆さん、先生を困らせちゃいけませんよ。

「“ありのまま”が一番！」と言っても、やっぱり勝負のときはキレイでいたい！若い女性はざわちんさんの「**半面驚似**」メイクに大注目。変幻自在の技を習得すれば、イケメンの「**掌壁告白**」も夢じゃありません！一方、シニア世代は、“ありのまま”の自分らしい最期を迎えようと「**用意終活**」にいそしみました。

テレビでは、朝の連続ドラマが3作続けて「**人気絶朝**」のバトンタッチ。一方、32年間続いた『笑っていいとも！』は「**放送笑了**」となりました。

新たな人気スポットも誕生しています。大阪では、日本一の超高層ビル「**阿高樓視**」が全面開業、USJは新エリアのオープンで「**入城者増**」と活気づきました。また、島根の出雲大社は、高円宮典子さまの挙式が「**吉日典祝**」に行われ、縁結びブームに沸いています。

行きたいところは山のようにありますが、私たちが運んでくれる交通ネットワークも進化しています。北海道新幹線は青森・函館間のレールが繋がり、「**線路通通**」が列島縦貫。一方、空では世界市場に「**次機競争**」する国産小型ジェット機“MRJ”がついに完成！日本の翼の未来に、熱い視線が注がれています。

“富岡製糸場と絹産業遺産群”の「**世界遺産**」、 “和紙”の無形文化遺産登録には、日本中が歓喜しました。世代を超えて受け継がれてきた自然や文化を大切にしつつ、私たちも後世に、豊かな未来を遺していきたいものです。

以上

◆◇◆ 優秀作品10編 ◆◇◆

(敬称略・順不同)

すしやかいだん
鮓屋会談
(四谷怪談)

日米首脳が鮓屋で会談した。

滋賀県・松本 幸子 (49 歳)

にほんていえん
日本低円
(日本庭園)

円安が進行。

神奈川県・大森 俊二 (81 歳)

ごはしじゅう
五八至十
(五八四十)

消費税8%は10%への通過点？

京都府・上原 立 (56 歳)

さいこうかかく
菜高価格
(最高価格)

異常気象で野菜の価格が高騰。

愛知県・古川 明夫 (66 歳)

かないあんぜん
蚊無安全
(家内安全)

蚊に刺された人がデング熱を発症。

東京都・野本 とし夫 (63 歳)

大阪府・石橋 直子 (72 歳)
千葉県・石原 正雄 (68 歳)

きそうせんがい
危草千害
(奇想天外)

危険ドラッグ、千害あって一利なし。

東京都・中村 哲也 (53 歳)

神奈川県・野村 昌弘 (74 歳)

よういしゅうかつ
用意終活
(用意周到)

死後のことまで生前に準備する。

千葉県・渡辺 幸恵 (84 歳)

きしょうでんせつ
紀翔伝説
(起承転結)

スキージャンプの葛西紀明選手が41歳でメダル獲得。まさにレジェンド。

神奈川県・木本 英男 (53 歳)

せいこうほうしゅう
青光褒祝
(成功報酬)

青色LEDの開発により、日本の研究者3名がノーベル物理学賞を受賞。

大阪府・渡辺 廣之 (61 歳)

せつかりょうらん
雪歌繚乱
(百花繚乱)

映画「アナと雪の女王」が大ヒット。日本全国「レリゴー！」の嵐。

静岡県・萩原 くみ子 (59 歳)

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
政 治	三割管女 さんわりかんじょ	政府は、女性管理職を2020年までに3割に増やす目標を示した。 京都府・吉岡 正博 (58歳)	三人官女
	紅増改閣 こうぞうかいかく	第2次安倍改造内閣が発足。女性閣僚が過去最多に並ぶ5人に。 山口県・原野 秀敏 (42歳)	構造改革
経	投資新択 とうししんたく	少額投資非課税制度がスタート。資産運用の選択肢が広がった。 高知県・若藤 賢誠 (44歳)	投資信託
	電貨滞閉 でんかたいへい	仮想通貨、「ビットコイン」。日本の取引サイトが閉鎖状態に。 東京都・中村 哲也 (53歳)	天下泰平
済	次機競争 じききょうそう	国産初の小型ジェット旅客機「MRJ」で、世界市場に参戦。 京都府・堀井 弘 (54歳)	時期尚早
	線路遥遥 せんろはるばる	新幹線のレール敷設が完了し、北海道から九州まで結ばれた。 京都府・吉岡 正博 (58歳)	遠路遥遥
社	野生枯鰻 やせがまん	ニホンウナギ、絶滅危惧種に指定。 神奈川県・太田 光彦 (41歳)	瘦せ我慢
	阿高楼視 あこうろうし	大阪に「あべのハルカス」が開業。 地上300mの景色を求めて多くの人々が来場した。 大阪府・松原 敬二 (44歳)	赤穂浪士
会	待眼成就 たいがんじょうじゅ	待ちました！iPS細胞、初の移植手術で光が見えました。 奈良県・村上 三佐子 (70歳)	大願成就
	蚊園閉鎖 かえんへいさ	蚊からデング熱のウイルスが検出され、公園が閉鎖に。 東京都・小杉 賢一 (57歳)	火炎放射
会	怪鶏処理 かいけいしより	中国の期限切れ鶏肉問題。 神奈川県・太田 光彦 (41歳)	会計処理
	雹理一体 ひょうりいつたい	東京都三鷹市などで雹。一体なぜ？ 大阪府・原 隼 (76歳)	表裏一体
	安山祈願 あんざんきがん	山の事故が多い一年だった。安全を祈る。 茨城県・笠原 真枝 (46歳) 群馬県・町田 実 (53歳)	安産祈願
	皆喜月食 かいきげつしょく	秋の夜空に赤銅色の月。みんな大喜び。 埼玉県・宮下 英生 (59歳) 東京都・島立 隆男 (52歳) 愛知県・古川 明夫 (66歳)	皆既月食

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
社 会	吉日典祝 きちじつてんしゅう	高円宮典子様、ご結婚。 北海道・加藤 勇太 (28歳)	一日千秋
	指名頭氷 しめいとうひょう	「ALSアイスバケツチャレンジ」、次の人を指名して氷水をかぶる。 愛知県・古川 明夫 (66歳)	指名投票
国	海宝密漁 かいほうみつりょう	小笠原諸島近海に、中国のサンゴ密漁船が急増。 大阪府・渡辺 廣之 (61歳)	大宝律令
	英否分離 えいノーぶんり	スコットランド、英国からの分離は「ノー」。 熊本県・高浜 智成 (46歳)	兵農分離
際	デモ泰国 デモたいこく	デモから軍事クーデターに発展した、タイの政変。 神奈川県・内河 裕信 (55歳)	邪馬台国
	瞬火中東 しゅんかちゅうとう	瞬く間に戦火の危険拡大、中東情勢。 神奈川県・大森 俊二 (81歳)	春夏秋冬
情 勢	剣嫌学学 けんけんがくがく	争いを嫌い、女子教育の権利を訴えるマララ・ユスフザイさん。 ノーベル平和賞を受賞。 神奈川県・稲本 勝美 (64歳)	喧喧諤諤
	優秋之美 ゆうしゅうのび	福岡ソフトバンクホークスの秋山幸二監督、日本で花道を飾る！ 大阪府・渡邊 守昭 (44歳) 東京都・島立 隆男 (52歳) 福岡県・大橋 雅美 (45歳) 東京都・山本 桂子 (51歳)	有終之美
文 化	蹴球不勝 しゅうきゅうふかつ	サッカーW杯ブラジル大会で、日本代表は1勝もできなかった。 愛知県・浅岡 圭吾 (51歳)	週休二日
	世界遺蚕 せかいいさん	富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産に！ 東京都・岩瀧 悦子 (54歳) 東京都・島田 正悟 (32歳)	世界遺産
ス ポ ー ツ	勢錦之栄 いきんのえい	テニスの錦織圭選手が大活躍。 東京都・島立 隆男 (52歳)	衣錦之栄
	金霸銀盤 きんぱぎんばん	ソチ五輪のフィギュアスケートで、羽生結弦選手が金メダルを獲得。 北海道・高橋 多美子 (53歳)	金波銀波
ツ	金輝羽生 きんきはにゅう	ソチ五輪でフィギュアスケートの羽生結弦選手が金メダルを獲得し、 日本中が歓喜に沸いた。 愛知県・松本 広宣 (53歳)	新規加入
	五舞五無 ごぶごぶ	フィギュアスケートの浅田真央選手、 舞い続けるか無しかは「ハーフハーフ」。 北海道・山重 真一 (59歳)	五分五分

◆◇◆ 入選作品40編 ◇◇◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
文 化 ・ ス ポ ー ツ	逸城揚々 いっきようよう	逸ノ城関が、初土俵から所要5場所で新三役に。 スピード出世を果たした。 東京都・山本 桂子 (51歳)	意気揚々
	虎逃之夢 こちょうのゆめ	日本一の夢むなしく…勝利は阪神タイガースから逃げて行った。 奈良県・村上 三佐子 (70歳)	胡蝶之夢
	将大繁盛 しょうだいはんじょう	田中将大投手、ニューヨーク・ヤンキースと大型契約を締結。 愛知県・後藤 章峰 (37歳) 東京都・小杉 賢一 (57歳)	商売繁盛
	鯉女赤染 りじよせきせん	「カープ女子」が話題に。球場のスタンドを赤く染めた。 埼玉県・田口 勇蔵 (49歳)	理路整然
	五十の闘 ごじゅうのとう	全国高校軟式野球大会準決勝で、延長50回の死闘。 新潟県・橋立 英樹 (47歳)	五重塔
流 行 ・ 芸 能	入城者増 にゅうじょうしゃぞう	大阪のUSJに「ハリー・ポッター」エリアがオープン。 京都府・吉岡 正博 (58歳)	入場者数
	人気絶朝 にんきぜつちよう	NHK朝ドラの高視聴率が止まらない。 京都府・吉岡 正博 (58歳)	人気絶頂
	放送終了 ほうそうしょうりよう	国民的長寿番組の「笑っていいとも！」が、最後の放送を迎えた。 京都府・吉岡 正博 (58歳)	放送終了
	白顔一笑 はくがんいつしょう	お笑いコンビの日本エレキテル連合が大ブレイク。 神奈川県・柴谷 佳寿美 (38歳) 北海道・山重 真一 (59歳)	破顔一笑
	半面驚似 はんめんきょうじ	芸能人のものまねメイクで、マスク姿のざわちんさんが話題に。 愛知県・波多野 賢太郎 (39歳)	反面教師
	難買妖怪 なんかようかい	アニメ「妖怪ウォッチ」が大人気。関連商品が入手困難に…。 青森県・池田 毅 (61歳)	何か用かい？
	掌壁告白 しょうへきこくはく	少女漫画発の「壁ドン」が大ブーム！ 京都府・吉岡 正博 (58歳)	衝撃告白

審査員コメント

俵 万智 (歌人)

創作四字熟語は、非常に高度で楽しい言葉遊びです。まず、四つの文字が喚起するイメージやできごとが一目で受け取れるわくわく。これは漢字ならではの簡潔な伝達力のおかげです。そしてモトになった四字熟語を知っていれば、その重ねあわせや飛躍を楽しめる。さらに表現されている社会現象を共有しているからこそ、くすっと笑えたりもします。

「あの会談は怪談でもあったのかも」「百害あって…という表現もあるけど、これは本当に千害だ」「そうそう、報酬も取りざたされたっけなあ」。そんなふうに一年を振り返りながら、けっさくな傑作を味わってください。

創作の新機軸としては「ごはしじゅう五八至十」「かないあんぜん蚊無安全」が印象に残りました。

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	<ul style="list-style-type: none"> ●利益が非課税となる「少額投資非課税制度(NISA)」がスタート ●ざわちんさんのものまねメーク本、「ざわちん Make Magic」発売 ●田中将大投手、米大リーグ・ヤンキースと日本人選手史上最高額で契約 	投資新択 (とうししんたく) 半面驚似 (はんめんきょうじ) 将大繁盛 (しょうだいはんじょう)
2	<ul style="list-style-type: none"> ●ソチ冬季五輪が開幕。フィギュアスケート男子・羽生結弦選手が金メダル ●スキージャンプ男子・葛西紀明選手が銀。冬季五輪の日本最年長メダリストに ●インターネット上の仮想通貨「ビットコイン」、取引所が経営破綻 	金覇銀盤 (きんぱぎんばん) 金輝羽生 (きんきはにゅう) 紀翔伝説 (きしょうでんせつ) 電貨滞閉 (でんかたいへい)
3	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪「あべのハルカス」が全面開業。高さ日本一の300m ●ディズニーのアニメ映画、「アナと雪の女王」公開。大ヒットに ●テレビ「笑っていいとも!」最終回。32年間、通算8054回の長寿番組 	阿高樓視 (あこうろうし) 雪歌繚乱 (せつかりょうらん) 放送笑了 (ほうそうしょうりょう)
4	<ul style="list-style-type: none"> ●消費税率が5%から8%に引き上げ。17年ぶりにアップ ●「壁ドン」シーンが人気を呼んだ少女漫画、「L♡DK」が映画公開 ●オバマ米大統領が来日。安倍首相と銀座の高級すし店で会食 	五八至十 (ごはしじゅう) 掌壁告白 (しょうへきこくはく) 鮭屋会談 (すしやかいだん)
5	<ul style="list-style-type: none"> ●フィギュアスケートの浅田真央選手が休養表明。復帰は「ハーフハーフ」 ●タイ国王が軍事政権を承認。反政府デモが長期化 	五舞五無 (ごぶごぶ) デモ泰国 (デモたいこく)
6	<ul style="list-style-type: none"> ●国際自然保護連合がニホンウナギを絶滅危惧種に指定 ●サッカーW杯ブラジル大会が開幕。日本代表は1次リーグ敗退 ●「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に正式決定 ●新成長戦略が閣議決定。「女性の活躍」が中核に ●関東で大気不安定に。東京都三鷹市などで雹が降り数十センチ積もる 	野生枯鰻 (やせがまん) 蹴球不勝 (しゅうきゅうふかつ) 世界遺蚕 (せかいいさん) 三割管女 (さんわりかんじょ) 雹理一体 (ひょうりいつたい)
7	<ul style="list-style-type: none"> ●イスラエル軍が対ハマス軍事作戦を開始。パレスチナ自治区ガザを空爆 ●警視庁が脱法ドラッグの対策本部設置。新呼称は「危険ドラッグ」に ●ヤフーがインターネット上の「終活」支援サービスを開始 ●USJに、映画「ハリー・ポッター」の世界を再現した新エリアがオープン ●中国の食品加工会社で期限切れ鶏肉使用問題が発覚 ●プロ野球・広島カープの女性ファン、「カープ女子」が東京で広島県をPR 	瞬火中東 (しゅんかちゅうとう) 危草千害 (きそうせんがい) 用意終活 (よういしゅうかつ) 入城者増 (にゅうじょうしゃぞう) 怪鶏処理 (かいけいしり) 鯉女赤染 (りじょせきせん)
8	<ul style="list-style-type: none"> ●アニメ「妖怪ウォッチ」の腕時計型おもちゃ発売。予約殺到、品切れ続出 ●「ALSアイスバケツチャレンジ」の参加で著名人らが東京タワーに集結 ●日照不足で野菜高騰。東京中央市場14品目中11品目が高値と農水省発表 ●全国高校軟式野球大会の準決勝、東海代表・中京が延長50回を制す 	難買妖怪 (なんかようかい) 指名頭氷 (しめいとうひょう) 菜高価格 (さいこうかかく) 五十の闘 (ごじゅうのとう)
9	<ul style="list-style-type: none"> ●第2次安倍改造内閣が発足。女性内閣歴代最多タイの5閣僚に ●東京・代々木公園の大部分が閉鎖。採集した蚊からデングウイルス検出 ●デング熱拡大防止に向け、厚労省や東京都などが緊急対策会議を開催 ●世界初、iPS細胞移植手術に成功 ●スコットランドで住民投票。英国からの独立を否決 ●御嶽山が噴火。警戒レベル3に引き上げ ●朝ドラ「花子とアン」、「マッサン」にバトンタッチ。共に高視聴率 	紅増改閣 (こうぞうかいかく) 蚊園閉鎖 (かえんへいさ) 蚊無安全 (かないあんぜん) 待眼成就 (たいがんじょうじゅ) 英否分離 (えいノーぶんり) 安山祈願 (あんざんきがん) 人気絶朝 (にんきぜつちょう)
10	<ul style="list-style-type: none"> ●高円宮家の次女典子さまと出雲大社の権宮司千家国麿さんが挙式 ●青色LEDの開発で、日本人3名がノーベル物理学賞を受賞 ●日本各地で「皆既月食」を観測 ●マララ・ユスフザイさんにノーベル平和賞。史上最年少17歳で受賞 ●国産初小型ジェット旅客機、「MRJ」の完成披露式典開催 ●大相撲、モンゴル出身の逸ノ城関が最速で新関脇に昇進 ●違法サンゴ漁の中国人船長を逮捕。政府が中国側に再発防止を要請 ●プロ野球・ソフトバンクが阪神を下し、3年ぶりの日本一に 	吉日典祝 (きちじつてんしゅう) 青光褒祝 (せいこうほうしゅう) 皆喜月食 (かいきげつしよく) 剣嫌学学 (けんけんがくがく) 次機競争 (じききょうそう) 逸城揚々 (いっきようよう) 海宝密漁 (かいほうみつりょう) 優秋之美 (ゆうしゅうのび) 虎逃之夢 (こちょうのゆめ)
11	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道新幹線のレール締結式。北海道から鹿児島まで鉄路縦貫 ●東京外国為替市場、約7年ぶりの1ドル=115円台まで円安が加速 ●テニス男子・錦織圭選手がATPツアー・ファイナル4強入り 	線路遥遥 (せんろはるばる) 日本低円 (にほんていえん) 勢錦之榮 (いきんのえい)
12	<ul style="list-style-type: none"> ●人気のコント、「ダメよ〜ダメダメ」が新語・流行語大賞に 	白顔一笑 (はくがんにっしょう)